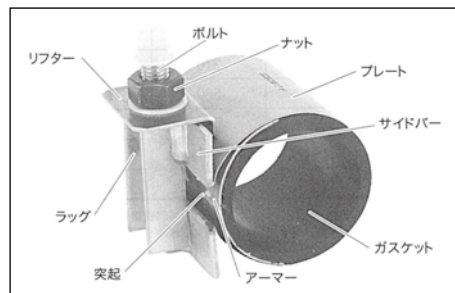


フルカバークランプSCS

フルカバークランプSCSは既設水道管の損傷部分に取付けることにより、漏水を未然に防止したり、損傷による漏水に断水することなく簡単に止水し、修復することが出来ます。

特にこの製品は、技術提携先であるアメリカのローマック社において製造し、日邦バルブにて、日水協品質認証センターの認証を受け、販売しております。



- 認証登録
 ● 認証機関: (社) 日本水道協会
 品質認証センター
 ● 適合性能: 耐圧・侵出
 ● 認証番号: Z-15

管種	管口径	クランプ幅(mm)	
		75	150
CUPII型 SP-PE	☆13	6,600	—
		6,790	—
CUPII型 SP-PE	☆20	6,910	—
		6,850	—
CUPII型 SP-PE	☆25	6,950	—
		7,020	—
CUPII型 SP-PE	☆30	7,250	—
		7,080	—
CUPII型 VP-SP-PE	☆40	7,530	—
		7,870	—
CUPII型 VP-SP-PE	☆50	7,980	—
		—	14,690
HP-AW(JIS)	50	—	—

● 施工の手順

⚠ 注意

- 取付前に修理するパイプの種類・口径・損傷の状態等を調べ、適合したクランプであるか、又クランプの部品が破損なく全て揃っているか等を確認してください。
- 取付箇所付近のパイプをよく清掃し、泥・錆・油分・凹凸等を取り除いてください。
- プレート・ラッグ等、端が鋭利になっている場合がありますので、軍手等をして作業してください。

(主にSS-2で説明しています。)

(SCS)

1 ナットをボルトの先端まで緩め(取り外さなくて良い)、クランプを分割してパイプに巻く。

● ガasketをクランプ本体より取り出し、漏水箇所に巻く。

2 リフターをサイドバーに確実に掛ける。

● ナットをボルトの先端まで緩める。(取り外さなくて良い)
 ● クランプ本体をガasketに被せて、リフターを引き上げながらサイドバーに掛ける。この時サイドバーの間(なるべく中央)にアーマーの突起が来る様にしてください。

⚠ 注意

- SS-1・2・3では、ガasketの末端が折れたたまることなく、パイプに均一に巻かれる様に注意してください。

クランプの設置箇所に前もって印を付けておき、クランプを修理箇所の近くであらかじめセットした後、設置箇所にずらして取付けると容易です。損傷箇所がクランプの中心に来る様に、又ボルトナットが複数の場合には、漏水箇所が外側ボルトより内側に入る様に取付けてください。

3 ナットを締め付ける。
 ● 約30分置いてから増し締めを行った後、漏れがないか確認する。

● ナットを締め付ける。
 ● 約10分置いてから増し締めを行った後、漏れがないか確認する。

⚠ 注意

- 締め付けは、トルクレンチ又はスパナを用いて数回に分けて行い、順次トルクを上げて適正トルクで締め付けてください。

ボルトナットが複数の場合は、中央のナットから始め、交互に均一に締め付ける。

- 標準締め付けトルクで止水できない場合は、管や器具の破損に注意して、更に順次トルクを上げて締め付けてみてください。管の状態、損傷の大きさ、圧力等により、止水できない場合もございます。

標準締め付けトルク (参考値)

型	呼び径	標準締め付けトルク N・m	型	呼び径	標準締め付けトルク N・m
C型	13~25	20	SS	50AP・65・75	50
	30~50	30		100・125	65
SCS	13~50	45		150以上	80~100